



大高インフォメーション ホップステップ

JUMP!

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原 1-591 TEL.0957(52)2660



団体 漕艇部男子 (4大会連続23回目)
漕艇部女子 (2年ぶり28回目)

個人 漕艇部 男子ダブルスカル
男子舵手付クォドルプル
女子ダブルスカル
女子舵手付クォドルプル

たゆまざる 歩みおそろし かたつむり

長崎県立大村高等学校 校長 原 昌 紀

高校総体が無事終了しました。諫早市で開催された総合開会式では、大高生が堂々とした入場行進を見せられました。県内各会場で熱戦が繰り広げられ、本校は、2つの競技で団体優勝、1競技4種目で個人優勝を果たす活躍ぶりで、16名が北海道で開催されるインターハイに、26名が九州高校総体に出場します。上位大会に参加する皆さんは、全国や九州の場で大高旋風を巻き起こしてくれることを期待しています。

さて、本校の正面玄関横に写真のようなブロンズ像があります。昭和61年に、当時、創立百周年を迎えた本校の新たな創造を期して建立されたものです。この銅像の作者は、長崎平和公園にある祈念像の制作で有名な北村西望氏です。北村氏は、「わたしは天才ではないから、人より五倍も十倍もかかるのです。いい仕事をするには長生きをしなければならない」が口癖で、平和祈念像をつくるのにも昭和26年から4年間をかけて完成させたそうです。

標題の句は、北村氏が平和祈念像を制作中のある夜、足下にいたかたつむりが、翌朝には像の上の方にまで達していたことにたいく感動し、この句を詠んだと言われています。

歩みは遅くてもあせらず、腐らず地道にこつこつと

努力を継続することの大切さを北村氏はこの句を通して語っておられるのです。

プロ野球界のレジェンドであるイチロー選手の「いま小さなことを多く重ねることが、とんでもないところに行くだけ一つの道なんだと感じています」という言葉であったり、「雨だれ石を穿つ (軒下から落ちるわずかな雨だれでも、長い間同じ所に落ち続ければ、ついには硬い石にも穴をあける)」ということわざなど、成果をあげるには、才能よりも継続した努力が大事であることを表した言葉は数多くあります。才能のある人は世の中に多くいても、本当の意味で継続する力のある人はそんなに多くいないのかもしれませんが、大切なのは瞬間的な情熱や努力でなく、忍耐強く継続する力であり、その継続する力は心がけと訓練で高めることができるものなのです。

これから、本格的に受験に向かう3年生や各部で新チームとして出発する1、2年生に心に留めておいてほしい言葉です。



令和5年度 高総体結果

※○内の数字は学年を表しています。

ベスト8以上

陸上

- ◆男子3000mSC 吉田武生③(玖島) 決勝 8位
- ◆女子100m 黒板咲良③(郡) 決勝 5位 **北九州大会出場**
- ◆女子 4×400mリレー 決勝 7位
本村寛子③(玖島)・黒板咲良③(郡)・太田春名③(真城)・田島里紗②(桜が原)



山岳(登山)

- ◆女子団体 **第2位**



弓道

- ◆団体 男子決勝リーグ **2位**(4勝2敗) **九州大会出場**
- ◆個人 古井稜士③(大村) 決勝 3位 **九州大会出場**

ソフトテニス女子

- ◆団体 3位
- ◆個人 小林葵③(西大村)・村川梨花③(北諫早) 3位 **インターハイ・九州大会出場**

サッカー

- ◆ベスト8

剣道

- ◆団体 ベスト8

漕艇

男女総合優勝 (男子4大会連続23回目・女子2年ぶり28回目)

- ◆男子シングルスカル 口石諒②(桜が原) **2位** **九州大会出場**
- ◆男子ダブルスカル 大村A 梶崎悠志郎②(玖島)・宮崎惺之②(郡) **優勝** **インターハイ・九州大会出場**
- ◆男子舵手つきクォドルプル 大村A 井手健人②(桜が原)・濱邊咲太郎③(郡)・溜畑皓大②(桜が原)・西村南一紀②(郡)・坂井明弘②(桜が原) **優勝** **インターハイ・九州大会出場**

- ◆大村B 渡邊航希①(桜が原)・高田空翔①(桜が原)・野口千歳①(西大村)・中溝陽斗①(西大村)・江副晃樹①(郡) 3位

- ◆女子シングルスカル 山下真奈③(桜が原) 3位
- ◆女子ダブルスカル 大村A 深浦ゆず③(桜が原)・田中真緒②(大村) **優勝** **インターハイ・九州大会出場**



- ◆大村B 尾上颯来②(東彼杵)・吉田茉友子②(郡) **2位**
- ◆大村C 山口花笑②(東彼杵)・清水花美②(大村) 4位
- ◆女子舵手つきクォドルプル 大村A 中村紅葉③(大村)・総野真夏②(喜々津)・池角姫依②(琴海)・山田みづき②(玖島)・樋口珠優③(玖島中) **優勝** **インターハイ・九州大会出場**

- ◆大村B 小野美嘉①(玖島)・坂田琴美①(大村)・服部由佳①(西大村)・木下ひなた①(大村)・岩永凜花①(諫早) **2位**

テニス男子

- ◆個人ダブルス 平山隆仁②(郡)・鳥井洸希③(郡) ベスト8

テニス女子

- ◆個人ダブルス 宮田吏子②(大村)・芳野里帆①(玖島) ベスト8
- ◆個人シングルス 芳野里帆①(玖島) 3位 **九州大会出場**
宮田吏子②(大村) ベスト8



探究PFI「かはくVR探究」(対象:1年)

国立科学博物館ホームページ内にあるデジタルコンテンツ「かはくVR」や県立図書館ミライonからの関連書籍約200冊の貸し出しを活用し、ポスター作製、発表を行うことで、探究活動の一連の流れを体験させるプログラムになっています。生徒1人1台端末の使用が開始したことを受け、昨年度からポスターはタブレット上で作製するようにしました。

SS探究IB「課題発見セミナーII」(対象:2年普通科)

大村高校では、全生徒・全職員(なんと、教頭先生も毎年探究活動の担当をしてもらっています!)で探究活動を実施しています。課題発見セミナーIIは、本校職員が自分の専門科目であれば、「こんな課題探究もできるんじゃない?」といくつかテーマの例を提示し、課題探究のテーマ決めの参考にする場となっています。ただし、あくまで参考で、本校ではテーマは生徒が自ら決めることになっています。



かはくVR探究①



かはくVR探究②



NICE

課題発見セミナーII
広田教頭先生課題発見セミナーII
勝野先生生徒会役員任命式・
各種壮行式

6月28日(水)、新生徒会役員任命式と表彰伝達式、野球部および上位大会出場者の壮行式が行われました。役員任命式では、第76期会長の尾道康太くん(大村中)が退任挨拶で「信用」の重要性と大村高校が変革することへの期待を語り、新会長の松坂海音くん(川棚中)が「伝統を引き継ぎより良い学校を目指す」と挨拶しました。また、壮行式では夏の甲子園県予選大会を控えている野球部をはじめ、九州大会やインターハイ、全国高総文祭等に参加する各部・部門の代表生徒が、力強く決意表明を行いました。



第76期会長挨拶



新会長挨拶



野球部決意表明

令和5年度 第77期 生徒会総務委員

役職・担当委員会	氏名	出身中学校	役職・担当委員会	氏名	出身中学校
生徒会長	松坂 海音	川 棚	体育委員会	梅田 冬舞	桜が原
生徒会副会長	清浦 愛良	桜が原	体育委員会	長岡 統星	西大村
ルーム委員会			体育委員会	中村 明日香	桜が原
生徒会副会長	星本 真彩	西諫早	保健委員会	池田 茉生	郡
文化・玖城委員会			交通委員会	佐々木 惇了	郡
ルーム委員会	川本 伊織	桜が原	一役委員会	赤水 百音	桜が原
美化委員会	泉 佑之介	玖 島	図書委員会	御厨 彩葵	桜が原
生活委員会	才本 陽心	東彼杵	図書委員会	竹川 漱亮	西諫早
生活委員会	蟹江 凜音	桜が原	家庭クラブ委員会	赤波江 実桜	西大村
文化・玖城委員会	林 真帆	桜が原			

1年間
よろしくお願ひします

長崎県理数科

高等学校課題研究発表大会

6月8日(木)、第17回長崎県理数科高等学校課題研究発表大会が長与町民文化ホールで開催されました。県内に5つある文理探究科・理数科・数理探究科の高校生が集い、課題研究の成果発表を行いました。数理探究科の3年生は、校内発表会で選考された2つの班がステージでの口頭発表を、その他の班はポスター発表での参加となりました。3年生にとっては研究を外部に発信する大きな舞台であり、また参加観覧した2年生にとっては、他校生の発表を聴くことで、自分たちの研究内容や方針を見直す良い機会となりました。

優秀賞「長崎県産カワヨシノボリの表現型と生殖的隔離の可能性」

優秀賞「『ボリアの壺』モデルにおける様々な確率、およびその分布について」

上記のステージで発表した2班は中国・四国・九州地区理数科高校課題研究発表大会(鳥取大会)のポスター発表部門へ出場します。その他の班も以下のように表彰されました。

「大高川のポロロッカ」(ポスター発表 優秀賞)

「ぬか床を用いた電池の作成と改良」(ポスター発表 優良賞)

「大村湾のオキヒラシノミガイの繁殖戦略」(ポスター発表 優良賞)



文理探究科 校外研修

文理探究科1年生80名は、7月4日(火)に研修を行いました。研修場所は一人ひとりが興味を持った研修場所を選択し、長崎県環境保健研究センターと長崎県工業技術センターの2か所で行いました。

環境保健研究センターでは、長崎県気候変動適応の取り組みを紹介していただき、食や暮らし、健康を守るために品種改良や技術開発を行っていると同時に、一人一人が実践できる方法を提示していただきました。また、溶存酸素(DO)を測定する実験を班ごとに実践させていただき、私たちの身近にある川の水質が汚濁していないことを実証することができました。

工業技術センターでは、まずセンターの概要に関する講義を拝聴しました。その後、4つのグループに分かれ、基盤技術部内のシールドルーム、無響室等の5つの部屋を訪問し、精度の高い検査機器等を間近で観察しました。特に、電子顕微鏡で備長炭の断面を観察したり、3Dプリンターで造られたさまざまな模型を観察したりと学校ではできない貴重な体験をすることができ、工業技術に関する興味関心を高めることができました。



社会福祉協議会・ボランティアセンター訪問

5月10日に1・2年生が大村市社会福祉協議会とボランティアセンターを訪問し、大村市の社会福祉の現状を学びました。高校生としてだけでなく、ボランティアの一員として地域のために自分たちに何ができるかを考える機会となりました。そのおかげで、校外で開催される手話講座やボランティア講座にも積極的に参加する生徒が増えました。



西洋料理講習会

6月20日に九州文化学園調理専門学校の講師が来校され、3年生が「西洋料理講習」を受講しました。ホワイトソースの上手な作り方から応用の仕方までをわかりやすく教えてもらい、食物調理検定1級に活かしていけるように真剣に取り組んでいました。



家政科活動

認知症サポーター講座

5月17日に3年の「生活と福祉」選択者が「認知症サポーター講座」を受講しました。大村市の高齢化の現状や高齢者との関わり方などを学び、周囲の高齢者と積極的に関わっていこうとあらためて感じました。



おひさま文庫ボランティア

4月15日・5月20日に家政科全学年の生徒が上小路公民館で行われている「おひさま文庫」での工作の会補助ボランティアに参加しました。自分たちで何を作るか企画し、訪問しました。参加してくれた子どもたちと楽しく過ごすことができました。

